

NGO 江別で外国人と仲良くしよう！ + (北海道情報大学 ESS)

※発表順

● 事業名：「江別多文化共生のまちプロジェクト」
今年度は多言語サイトの作成に限定した活動でした。デザインや構成を情報大学の学生と一緒に考えながら、プロの力も借りて作り上げたものです。画像を中心としたやさしい日本語に加え、英語、中国語、韓国語に対応したサイトとなりました。これによって、江別の外国人留学生とともに江別の魅力や情報を多言語でわかりやすく発信していくベースとなるものが出来上がったと考えています。

江別子ども劇場

● 事業名：「江別子ども演劇クラブ」

2014年4月に発足し、2年目を迎えた「江別子ども演劇クラブ」の本年は、40回程のレッスンと、4回の発表を行いました。演劇だけでなく、ダンスや小唄、歌など多彩な分野の指導を受け、発表できるまでに成長しました。子ども劇場出身の学生も振付に加わり、えぼあホールで行われた「子ども文化祭」で演じた「カエルのフレンツェル」では450人のお客様から大きな拍手をもらいました。今後は、現在6名のメンバーをもっと増やして活動していきたいと考えています。

幸せなまちづくり江別の会 + (大麻ジュニアクラブ) ● 事業名：「ありがとうポストを設置しよう」

今年度は、感謝の気持ちを伝えることの大切さを理解して頂くために、全国各地の住民活動事例を紹介する小冊子を作成しました。昨年度に作成した「ありがとうカード」を投函する「ありがとうポスト」も大麻ジュニアクラブの子供達の協力により出来上がり、市立病院に設置する準備が整ったところです。また、東京で開催された「地域医療を考える全国シンポジウム」に参加し、わたしたちの江別での活動を報告することも出来ました。

AC ネットワーク研究会 + (おおあさの孫プロジェクト) ● 事業名：「市内幼稚園・保育園の畑づくり、野菜づくり体験支援事業」

市内の4つの幼稚園、保育園、小学校にて食育の体験授業サポートを行う事が出来ました。畑の開墾から収穫まで、畑のないところではプランター栽培での野菜作り体験、小学校の出前授業としての収穫祭などの提案など、各所の条件に応じながらの実施でした。実施後に届いた様々な感謝のメッセージに励まされました。おおあさの孫プロジェクトの協力を頂き、関心のある市民にも参加の輪を広げながら、今後も活動を継続していきます。



コメンテーター：左から千里 政文 氏、佐藤 功 氏、宮本 奏 氏

コメンテーターからの総評（要約）

● 宮本 奏 氏 (NPO ファシリテーションきたのわ代表)
会場の方達から頂いたコメントにも「とても良かった」というものが多く、私もそう思っています。来年度以降も継続される団体は、より発展した、もっとおもしろいものを提案し、活動をして頂きたいと思えます。

● 佐藤 功 氏 (江別市自治会連絡協議会 会長)
皆さんの江別のまちを盛り上げていきたいという熱意を感じました。今年で終了の団体も、来年度以降も継続する団体も、いろいろな方法を考え、工夫して、より良い活動に発展させて頂きたいと思えます。

● 千里 政文 氏 (北翔大学 教授) - 全体総評から -
全体的には素晴らしい発表で、とても良かったと思います。ただ、少し反省点もあります。この報告会から多くのことが学べると思いますので、他の団体の発表にも耳を傾けて頂きたいです。主催者側の不徹底もあったとは思いますが、個々の発表は素晴らしいのに残念なところです。1年目、2年目、3年目のそれぞれの活動がありますが、特に3年目の事業だった団体は、これを基に是非とも継続して欲しいと思います。



お知らせ 1

今年度 (H27 年度) の「協働のまちづくり活動支援事業」の報告会に関する詳細は以下で閲覧することが出来ます。

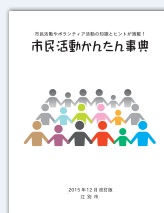
<https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/soshiki/shiminseikatsu/3346.html>

お知らせ 2

市民活動やボランティア活動について簡潔にまとめた「市民活動かんたん事典」を改訂し、発行しました。

市民活動をする上での基本的な事を記載しております。

これから活動を始める方やすでに活動されている方も是非ご覧ください。



閲覧・ダウンロードは

<http://center-i.jp/pdf/kantan.pdf>